

与論町庁舎建設事業 基本設計（案）説明資料

■ 設計概要

建設予定地	与論町茶花1418-1、1484-1、1496、1491
敷地面積	6,193.85 m ² (保健センター用地を含む)
用途地域	指定のない区域
都市計画区域	区域外

■基本方針

- ① 町民が利用しやすい庁舎
- ② 効率的な行政運営を可能とする庁舎
- ③ 防災拠点としての庁舎

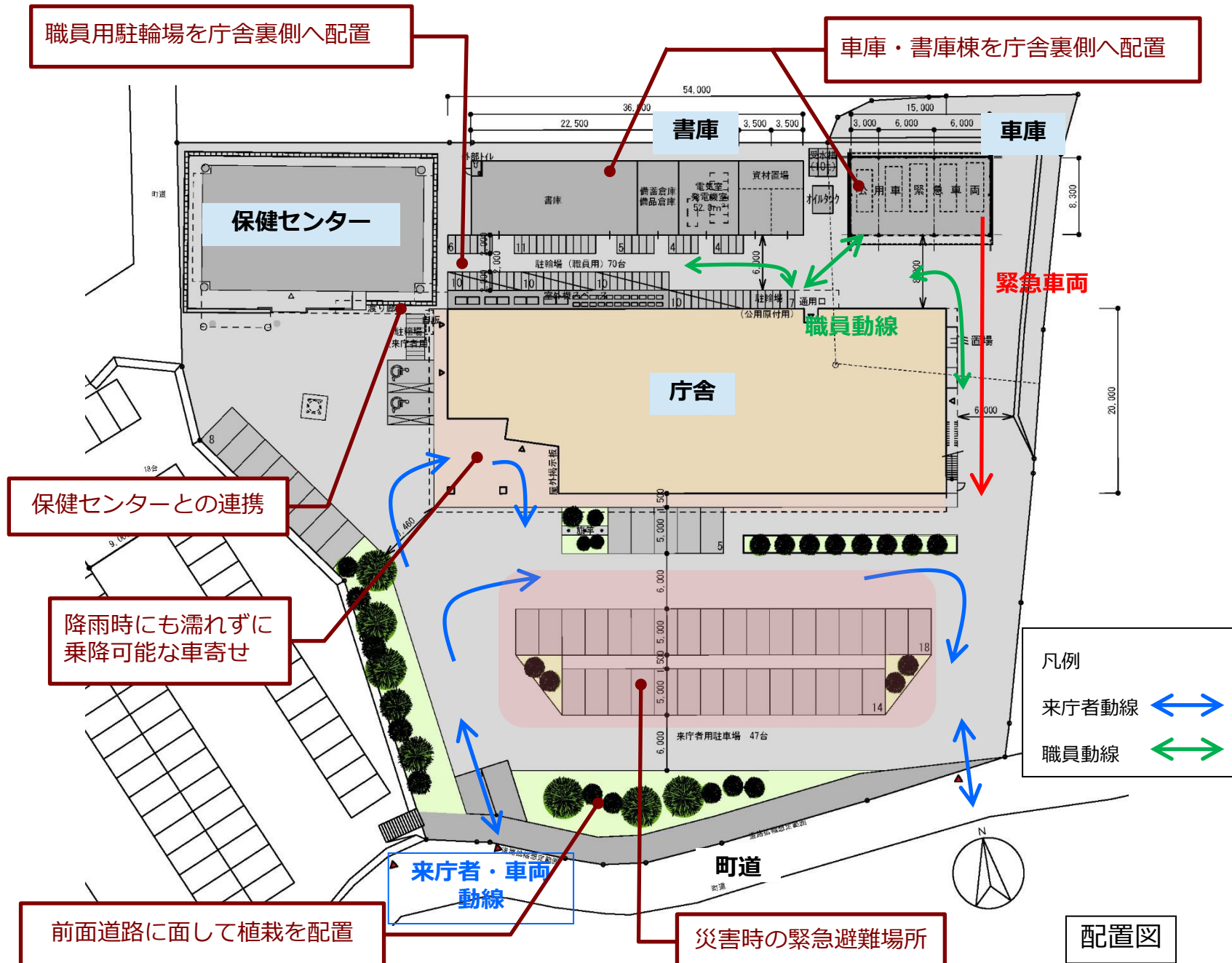


鳥瞰イメージ



外観イメージ

	庁舎棟	車庫棟	書庫棟
構造	鉄筋コンクリート造 2階建て	鉄骨造 平屋建て	木造 平屋建て
1階床面積	997.00 m ² 301.59 坪	131.46 m ² 39.76 坪	288.00 m ² 87.12 坪
2階床面積	999.25 m ² 302.27 坪	—	—
延床面積	1,996.25 m ² 603.86 坪	131.46 m ² 39.76 坪	288.00 m ² 87.12 坪

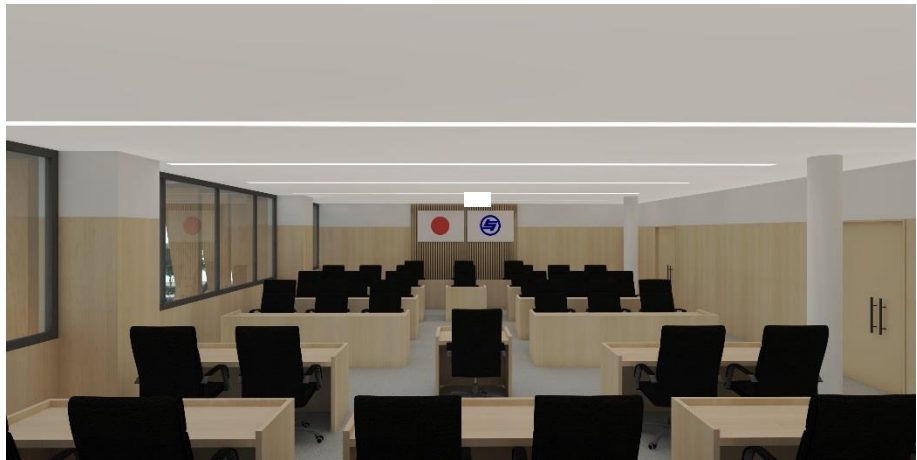
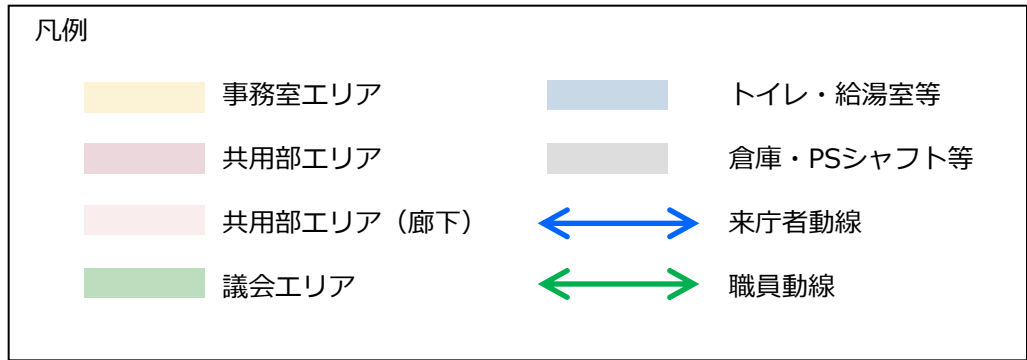
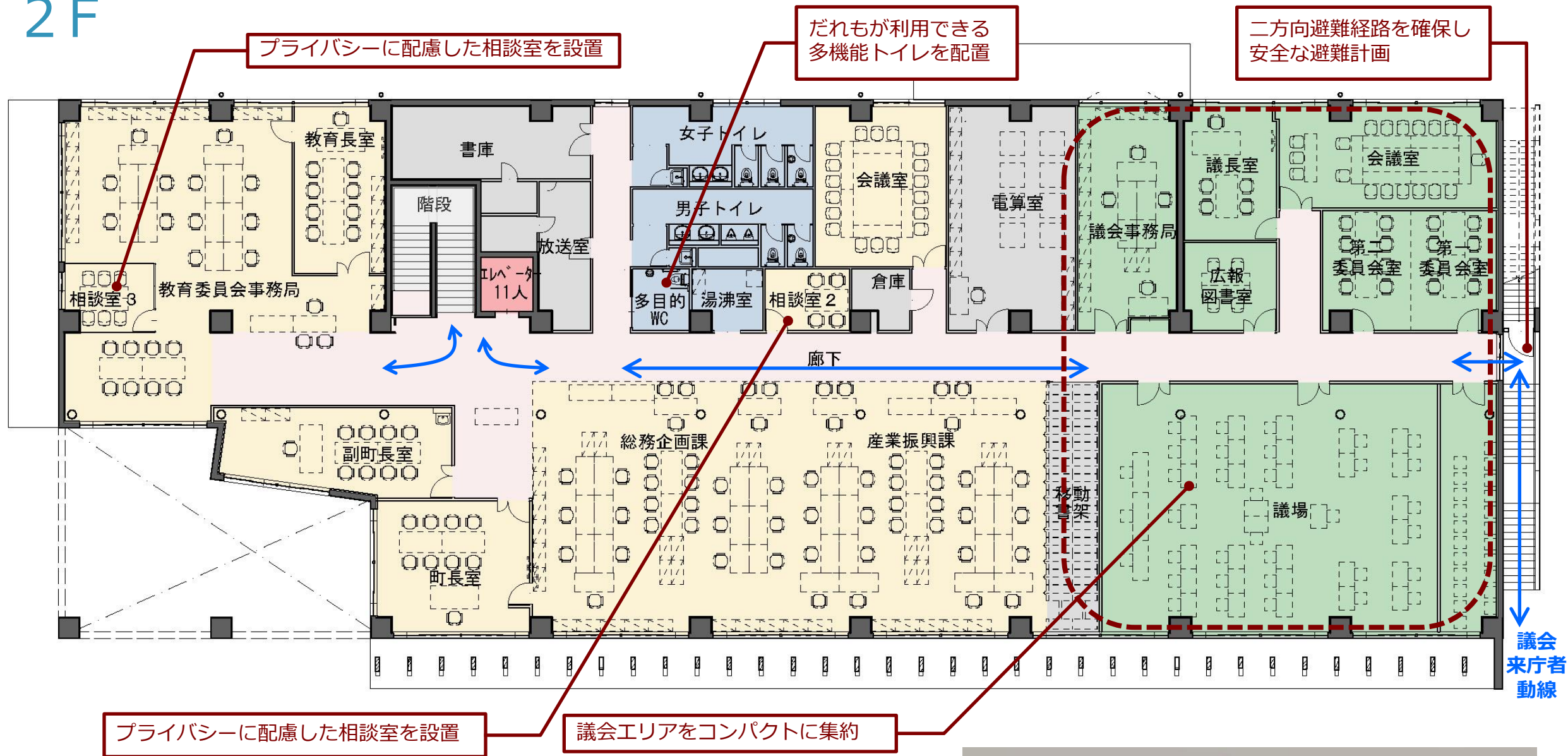


1F



1階平面図

2F



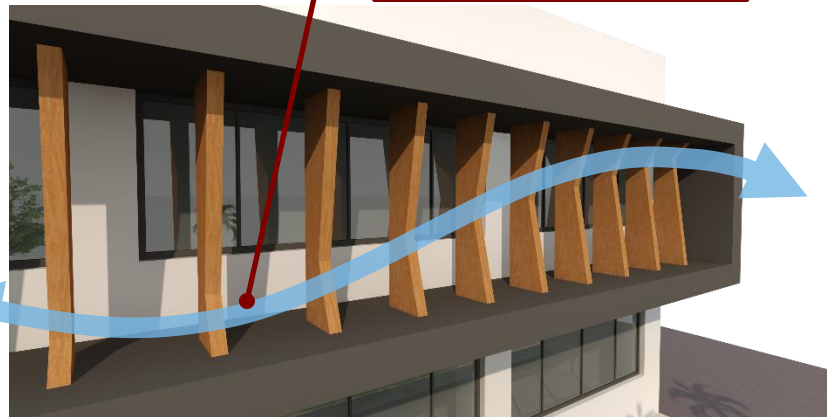
議場イメージ

2階平面図

■庁舎デザインについて

与論島の海をイメージした水平に伸びやかな建物形状とし、さわやかな白色系統の色彩計画とします。強い日差しを抑制するための、水平庇・木目調ルーバーをアクセントとし、木目調ルーバーは数種類の形状を組み合わせることで、「波」のラインを表現しています。

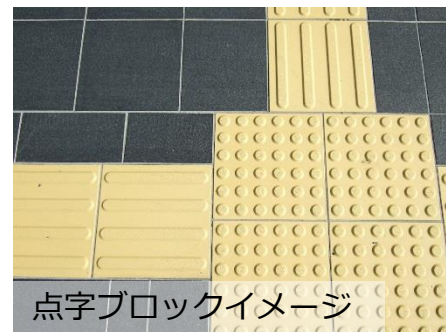
「波」のラインを表現



①町民が利用しやすい庁舎

新庁舎は全ての人に親しまれる庁舎とするために、障がい者や高齢者の方々に配慮した設備を導入します。

※バリアフリー法の建築物移動等円滑化誘導基準を満たす特定建築物として整備します。



②効率的な行政運営が可能な庁舎

新庁舎はLED照明や高効率の空調換気設備を導入することで、庁舎の省エネ・省資源化を図ります。また建物の断熱性向上や庇による直接日射制御により熱負荷の低減を図ることで、空調にかかる電気料金を低減します。屋外設置の設備機器は防風壁などを設け、潮風の影響を最小に抑え、長寿命化を図ります。



③防災拠点としての庁舎

新庁舎は非常用発電機による約72時間のバックアップ電源の確保など、災害時の防災拠点として機能するための設備を設けます。※庁舎1階の庁議室は災害時に災害対策本部として機能します。

